

重点課題 1

「質の高い授業の展開と確かな学力の向上」

*「評価指標」の（ ）内は、昨年度の目標→実績

自 己 評 価	
重 点 目 標	評価指標と活動計画
(全体レベル)	<p>評価指標</p> <p>生徒の総合的評価「授業満足度」85%以上 (昨年度：85%目標→未調査)</p>
	<p>①進研模試3教科 1年7月→2年11月 過回対比偏差値45.0以上の人数比較 73.0% (73.0%目標→71.9%)</p> <p>②1日の平均学習時間 1.0時間未満の生徒割合 60%以下 (60%目標→65%)</p> <p>③生徒による授業評価「理解が深まっている」 生徒割合 85%以上 (85%目標→未調査) 「興味・関心が高まっている」生徒80%以上 (80%目標→未調査)</p> <p>④朝食摂取率 93%以上 (92%目標→92.5%) 栄養バランス度 80%以上 (70%目標→78.3%)</p> <p>⑤図書貸出冊数一人 10.0冊以上 (10.0冊目標→7.5冊) 生徒一人あたりの入館回数 10回 (新規 昨年度9.6回)</p> <p>⑥進路に対する高い意欲を有する生徒の割合 85%以上 (85%目標→83%) 学年別進路保護者会出席率 55%以上 (55%目標→44.5%) 進路決定率 100% (100%目標→99.5%)</p> <p>⑦取得資格受験率 34.5% (新規 昨年度34.3%) 最終合格率50%以上 (50%目標→44%)</p>
(下位組織レベル)	
①基礎学力，受験学力の向上	
②家庭学習の習慣化と家庭との連携	
③教科指導力の向上と授業の質的転換	
④生活習慣の改善と健康管理	
⑤読書習慣の定着化，読書内容の向上	<p>活動計画</p> <p>①-1学習レディネスの形成 ①-2基礎的・基本的知識等の定着 ①-3学力養成講座（補習等）の効果的な実施と時間の確保 ①-4個別指導の効果的な実施 ①-5主体的な活動の推進と記録の蓄積</p>
⑥進路意識の高揚	<p>②-1学習時間記録の効果的な活用 ②-2教科別学習ガイダンスの充実 ②-3予習を前提とした授業展開の工夫 ②-4課題の効果的な提供 ②-5学年別進路保護者会での効果的な情報提供</p>
⑦資格取得の奨励	<p>③-1授業公開，研究授業の活性化</p>

- ③-2生徒による授業評価の工夫
- ③-3授業力向上，授業改善研修の実施
- ③-4カリキュラムマネジメントが機能している授業展開

-
- ④-1「保健だより」による啓発
 - ④-2生活実態調査の実施と活用
 - ④-3食育教育の推進
 - ④-4学校保健委員会での評価と改善

-
- ⑤-1魅力ある図書館づくりと読書啓発活動の工夫
 - ⑤-2効果的な読書活動の推進
 - ⑤-3学習と読書の関連性強化

-
- ⑥-1大学等の進路説明会への積極的な参加と報告
 - ⑥-2進路情報の収集と効果的な提供
 - ⑥-3進路ガイダンス及び進路保護者会（説明会，講演会等）の充実
 - ⑥-4他校との連携
 - ⑥-5各種体験活動の推進
 - ⑥-6組織的，計画的な企業訪問の実施
 - ⑥-7就職希望生徒への指導の強化
 - ⑥-8保護者対象の進路相談日の開設

-
- ⑦-1資格取得講座の開設
 - ⑦-2取得ガイダンスの充実

重点課題 2

「支えあう仲間づくりと人権教育の推進」

* 「評価指標」の () 内は、昨年度の目標→実績

自 己 評 価	評 価 指 標
重 点 目 標	評 価 指 標 と 活 動 計 画
(全体レベル)	<p>評価指標</p> <p>人権学習ホームルーム活動満足度90%以上 (95%目標→81%)</p>
<p>一人一人を大切にし、互いに思いやり尊重する態度を育てるとともに、ともに学び励まし合い、支え合い高めあう仲間づくりをすすめる、生命や人権を大切にすることを意欲を培い実践力を身につける。</p>	<p>①学習における他の生徒との協力度 100% (85%目標→100%)</p>
	<p>②個人人権課題「同和問題」取扱い度 35%以上 (35%目標→27%)</p>
	<p>③校内外研究大会，研修会参加率 100% (70%目標→100%)</p>
	<p>④地域研修会への参加教員数 10人以上 (10人目標→5人)</p>
	<p>⑤特別支援教育相談活動に係る職員の満足度 90%以上 (新規)</p>
(下位組織レベル)	<p>活動計画</p>
①人権が尊重される人間関係づくり，仲間づくり	<p>①-1落ち着いて学習できる環境作りの促進</p> <p>①-2生活実態調査の実施や個人面談等での実態の把握および対応</p>
②人権学習，啓発活動の充実	<p>②-1個人人権課題「同和問題」ホームルーム活動の計画的・継続的な実施</p> <p>②-2人権問題啓発講演会，映画会の継続的な実施</p> <p>②-3生徒の主体的な啓発（交流）活動の企画・実施，成果等の発信</p>
③教職員研修の充実	<p>②-4校内人権問題意見発表会の実施</p> <p>②-5「阿波高人権の日」に係る生徒主体の啓発活動の実施</p>
④地域や関係諸機関等との積極的な連携	<p>③-1指導方法の工夫，改善を図る研修会の実施</p> <p>③-2各種研究大会，講演会への積極的な参加と報告の徹底</p> <p>③-3生徒と学ぶ研修会の実施</p>
⑤特別支援教育の充実	<p>④-1地域や市役所等との連携</p> <p>⑤-1特別支援体制の確立</p> <p>⑤-2相談活動及び専門機関等へのコーディネート</p> <p>⑤-3教職員の生徒理解，支援能力の向上</p>

重点課題 3

「キャリア教育の推進」

* 「評価指標」の()内は、昨年度の目標→実績

自 己 評 価	
重 点 目 標	評価指標と活動計画
<p>(全体レベル)</p> <p>自らの成長に気づかせ、自己の価値観を形成させながら進むべき道を描けるようにさせるとともに、地域社会の一員としての自覚を持たせ、地域社会に貢献しようとする意欲を高める。</p>	<p>評価指標</p> <p>基礎的・汎用的能力に関する「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力について、調査した指標の値の増加10%以上(新規)</p> <p>①キャリア教育に関する内容にかけられる授業時間数 年間6時間 (新規)</p> <p>②キャリア教育に関するプログラムの実施 各学期1回以上(新規)</p>
	<p>活動計画</p> <p>①-1キャリアパスポートの作成と活用</p> <p>①-2「総合的な探究の時間」やHR活動でのキャリア教育に関する内容の増加</p> <p>①-3教職員に対する研修の実施</p> <hr/> <p>②-1地域社会、産業界との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人講師の招聘 ・企業、行政施設等の訪問 <p>②-2大学・専門学校等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部・学科説明会の実施 ・アカデミックインターンシップの実施
<p>(下位組織レベル)</p> <p>①キャリア教育に関する計画等の整備の推進</p> <p>②キャリア教育に関する実施プログラムの充実</p>	

重点課題 4

「基本的生活習慣の確立と規範意識の育成」

* 「評価指標」の () 内は、昨年度の目標→実績

重 点 目 標	自 己 評 価
重 点 目 標	評価指標と活動計画
(全体レベル)	<p>評価指標</p> <p>生徒の規範意識度 99%以上 (99%目標→98%)</p>
	<p>①頭髪・服装違反率 1%以下 (1%目標→1%)</p> <p>②遅刻者数 (日平均) 3.0人以下 (3.0人以下目標→3.8人)</p> <p>③携帯電話使用に係る指導数 4以下 (4目標→8)</p> <p>④交通事故発生件数 4件以下 (4件目標→6件) 違反報告者数 (阿波吉野川警察署) 0人 (3目標→0)</p>
(下位組織レベル)	
①頭髪・服装指導の徹底	⑤地域の街頭補導の参加者数 (教職員のみ) 39人以上 (PTA含む40人目標→40人)
②遅刻者の減少	⑥三者面談実施率 130%以上 (130%目標→128%)
③授業規律の確保	教育相談週間実施数 3以上 (3目標→3)
④交通事故の防止と通学マナーの向上	活動計画
⑤家庭、地域、関係機関との連携	①-1教職員の共通理解 (情報共有) ①-2生徒指導全校集会の実施 ①-3服装・頭髪指導週間の設定と改善指導の強化
⑥教育相談機能の充実	②-1遅刻指導週間の実施 ②-2生徒指導主事, 学年主任, 管理職等による改善指導の徹底 ②-3個別指導, 面談の実施
	③-1始, 終業の挨拶・マナーの徹底 ③-2携帯電話使用規則の徹底
	④-1通学時の校門, 駐輪場指導 ④-2通学路点検, 街頭指導の実施 ④-3自転車, バイク車体検査の実施 ④-4二輪車実技講習会の実施 ④-5交通安全講演会の実施
	⑤-1PTA役員会等での情報提供 ⑤-2警察, 補導センターとの情報交換 ⑤-3地域の街頭補導の実施 ⑤-4全国交通安全運動への参画

	⑥-1保健室相談機能の有効活用 ⑥-2情報の共有化と支援プランづくり ⑥-3専門家による研修会の実施 ⑥-4教育相談週間の設定 ⑥-5スクールカウンセラーの派遣
--	--

重点課題 5

「特別活動の活性化と豊かな人間性の育成」

*「評価指標」の()内は、昨年度の目標→実績

自 己 評 価	
重 点 目 標	評価指標と活動計画
(全体レベル) 創造的な活動を通して集団、社会の一員としての自覚を深め、よりよい生活、環境づくりに主体的に取り組む意欲と実践力を育てる。	評価指標 生徒のHR活動満足度 83% (83%目標→83%) 生徒の学校行事満足度 84% (84%目標→84%)
	①新企画数 3以上 (3目標→3) ----- ②部活動加入率 87%以上 (87%目標→87%) ----- ③文化祭肯定評価 92% (82%目標→92%) ----- ④地域清掃活動ボランティア参加者数 実施毎に 100人以上 (校外行事50人目標→85人)
(下位組織レベル) ①生徒会の活性化 ②部活動の充実・活性化 ③学校行事(学校祭等)の活性化 ④ボランティア活動の推進	活動計画 ①-1生徒による新しい活動の企画、運営 ①-2学校行事への主体的な参画 ①-3社会貢献活動の企画・実施及び参加 ----- ②-1顧問と生徒、保護者との良好な人間関係づくり ②-2部活動顧問会議の開催と意見交換 ②-3管理職への報告・連絡・相談の徹底 ②-4部活動のスリム化 ②-5活動及び結果等の広報活動 ----- ③-1生徒の主体的な活動支援 ----- ④-1地域清掃活動の充実

重点課題 6

「環境美化と健康，安心・安全な学校づくり」

* 「評価指標」の（ ）内は，昨年度の目標→実績

自 己 評 価	
重 点 目 標	評価指標と活動計画
(全体レベル)	評価指標 校内美化に関する満足度 65% (65%目標→57.5%)
	①職員室のクリアデスク実施率 65%以上 (65%目標→37%) ----- ②電気使用量前年度比 2%減 (2%目標→3%) ----- ③生徒の防災意識度 75%以上 (75%目標→68.6%) ----- ④生徒の朝食摂取率 93%以上 (92%目標→92.5%) ----- ⑤生徒の野菜摂取率 79%以上 (75%目標→78.3%)
(下位組織レベル)	活動計画 ①-1日常の清掃活動の徹底 ①-2教室等のゴミ分別の徹底 ①-3一斉大掃除の計画的実施 ①-4職員室の整理・整頓（クリアデスク） ----- ②-1学校林整備作業の実施 ②-2環境 I S O の推進 ----- ③-1学校防災計画の作成と職員への周知安全点検の実施 ③-2防災教育ワークショップの実施 ③-3教職員研修会の実施 ③-4効果的な訓練の実施 ③-5地震等発生時（深夜，休日等）の迅速な対応 ③-6 被災地支援と防災啓発活動 ----- ④-1心肺蘇生法・食物アレルギーに関する講習会の実施 ④-2「保健だより」の効果的な活用 ④-3厚生委員会活動の活性化 ④-4保護者，関係機関との連携 ④-5学校保健委員会の充実と結果の活用 ④-6生活習慣改善プロジェクトの実施 ----- ⑤-1食育全体計画の組織的な実施 ⑤-2学校家庭クラブの啓発活動 （家庭・地域への情報提供）
	①衛生・美化意識の高揚 ②環境教育の推進 ③防災教育の充実 ④健康意識の高揚と啓発活動の充実 ⑤食育の推進及び啓発

重点課題 7

「学校，地域の活性化と新しい学校づくり」

* 「評価指標」の（ ）内は，昨年度の目標→実績

自 己 評 価	
重 点 目 標	評価指標と活動計画
<p>(全体レベル)</p> <p>これまでの教育を充実・発展させるとともに，大学入試改革等，社会の変化に対応した多様な教育を創造し，地域に根ざした活力と魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>(下位組織レベル)</p> <p>①教育活動の見直しとスリム化</p> <p>②高-大，高-社会への円滑な接続</p> <p>③広報活動の充実</p> <p>④組織マネジメントの定着</p> <p>⑤主権者教育の充実</p> <p>⑥組織的，系統的な消費者教育の推進</p>	<p>評価指標</p> <p>令和2年度中学生進路希望調査に係る本校希望生徒数 定員の1.2倍以上 (1.2倍目標→1.21倍)</p> <p>①職朝5分以内実施率 70%以上 (3分:80%目標→65%) 職員会議1時間以内実施率 80%以上 (70%目標→80%) 行事削減率 3% (2%目標→3%)</p> <p>②外部講師活用数 12件以上 (30目標→31)</p> <p>③学校説明等訪問中学校 10校以上 (10校目標→9校)</p> <p>④行事報告書(評価記入済) 100% (100%目標→100%)</p> <p>⑤政治への関心度 92%以上 (95%目標→91.4%) 学校行事，HR活動等実施数 8以上 (8目標→8)</p> <p>⑥消費者教育講演会の理解度・満足度 82%以上 (80%以上目標→82%)</p> <p>活動計画</p> <p>①-1教育活動の選択・集中とゆとりの確保 ①-2教職員の意識改革と既成概念からの脱却</p> <p>②-1「総合的な探究の時間」の充実</p> <p>③-1ホームページの充実 ③-2中学校での学校説明会の実施 ③-3学校公開(授業等)の実施 ③-4学校案内メディアの開発</p> <p>④-1学校評価システムの適切な運用 ④-2行事計画書の報告，評価の徹底 ④-3目標管理シートとの連動性強化</p> <p>⑤-1主権者教育教職員研修会の実施 ⑤-2全体計画の作成と実施 ⑤-3教科，領域間の連携</p> <p>⑥-1知識，経験を持つ人材の活用 ⑥-2魅力ある授業の展開 ⑥-3教科間の連携</p>

